

科目名	栄養指導論Ⅱ	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目
			<input type="checkbox"/> 卒業必修 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士必修 <input type="checkbox"/> 選択
		開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
英文表記	Nutrition Education Ⅱ	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
ふりがな	とみおか かなえ	授業形態・修得単位	講義・2単位
担当教員名	富岡 佳奈絵	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	対象者（個人または集団）の栄養評価・栄養診断に基づいた栄養教育の目標設定、栄養教育の計画・実施・評価の方法を修得する。		
授業概要	ライフステージ、多様な場における栄養教育の特性を解説する。個人・集団を対象とした栄養教育の方法を理解し、栄養教育マネジメントサイクルを適用した栄養教育の計画について解説する。		
到達目標	1. 栄養カウンセリングの基本を理解し、栄養教育への活用について説明ができる。 2. 個人または集団を対象とした栄養教育マネジメントサイクルを説明できる。 3. 多様な場における栄養教育マネジメントサイクルに沿った栄養教育の計画立案を説明できる。		
授業時間外の学習	事前学修：事前に次回の授業箇所を説明するので教科書を読んでおく。(90分) 事後学修：授業内容を復習し授業に臨むこと。また、課題がある場合は取り組むこと。(90分)		
履修条件	栄養指導論Ⅰの単位を修得していることが望ましい。		

授業計画	
第1回	テーマ：ガイダンス 栄養教育マネジメントサイクルについて
第2回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導① 妊婦・授乳婦
第3回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導② 乳児期
第4回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導③ 幼児期
第5回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導④ 学童期
第6回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導⑤ 思春期
第7回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導⑥ 成人期
第8回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導⑦ 高齢期
第9回	テーマ：個人を対象とした栄養教育・指導① 栄養教育のアセスメント
第10回	テーマ：個人を対象とした栄養教育・指導② 栄養教育の計画・実施・評価
第11回	テーマ：集団を対象とした栄養教育・指導① 栄養教育のアセスメント
第12回	テーマ：集団を対象とした栄養教育・指導② 栄養教育の計画・実施・評価
第13回	テーマ：多様な場における栄養教育・指導① 臨床現場における栄養教育
第14回	テーマ：多様な場における栄養教育・指導② スポーツをする方への栄養教育
第15回	テーマ：多様な場における栄養教育・指導③ 災害時の栄養教育活動
第16回	定期試験
テキスト	武見ゆかり 他「健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 第5版」 南江堂
参考文献・資料	永井成美・赤松利恵「Visual 栄養学テキスト 栄養教育論 第2版」 中山書店
成績評価の方法	定期試験（70%）、提出物（30%）で総合的に評価する。出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	授業開始前・終了後に教室にて質問等受けます。
受講生に望むこと・受講のルール	事前学修・事後学修を含め積極的な態度で授業に臨むこと。